SYLLABUS

令和4年度

高大連携授業

後期授業計画書

（科目概要）

大学コンソーシアムあきた

目　　次

１　ワクワク学ぼう！算数・数学　（秋田大学）・・・・・　１

２　秋田の今とこれから　（秋田大学）・・・・・　２

３　東ヨーロッパの文化を知ろう　（秋田大学）・・・・・　３

４　ジャンヌ・ダルクの預言とその実行　（秋田大学）・・・・・　４

５　覗いてみようメディカルスタッフの研究　（秋田大学）・・・・・　５

６　基礎から創薬までを学ぶ生命科学　（秋田大学）・・・・・　６

７　最新の遺伝子組換え技術への道　（秋田大学）・・・・・　７

８　化学の目で最新のニュース解説　（秋田大学）・・・・・　８

９　高校生のための自殺予防学入門　（秋田大学）・・・・・　９

１０　教職の世界〈中央会場〉　（秋田大学）・・・・・１０

１１　高校物理で理解するAI・ロボット・メカトロニクス　（秋田県立大学）・・・・・１１

１２　コンピュータ，もっと役に立ちます　（秋田県立大学）・・・・・１２

１３　ヨーロッパの駅にみる街における駅の役割　（秋田県立大学）・・・・・１３

１４　リスクで分かる判断と違いの心理　（秋田県立大学）・・・・・１４

１５　データと数学　（秋田県立大学）・・・・・１５

１６　日本人のための英会話基礎的練習　（秋田県立大学）・・・・・１６

１７　世界のために生物生産科学で何を学ぶ？　（秋田県立大学）・・・・・１７

１８　英語でVRツーリズム体験　（秋田県立大学）・・・・・１８

１９　不思議な木　（秋田県立大学）・・・・・１９

２０　国際教養学への招待　（国際教養大学）・・・・・２０

２１　なぜ学校は必要なのか？　（ノースアジア大学）・・・・・２１

２２　民俗学への招待　（ノースアジア大学）・・・・・２２

２３　クリスマス商戦などで学ぶ国際ビジネス　（ノースアジア大学）・・・・・２３

２４　ドイツ語へのいざない　（ノースアジア大学）・・・・・２４

２５　日商簿記２級の工業簿記を学ぼう　（ノースアジア大学）・・・・・２５

２６　キリスト教、ヨーロッパ、政治思想　（ノースアジア大学）・・・・・２６

２７　権利のコストを考える　（ノースアジア大学）・・・・・２７

２８　秋田の未来は明るいぞ！　（ノースアジア大学）・・・・・２８

２９　心理学で命を守る　（ノースアジア大学）・・・・・２９

３０　高校では学ばないであろう法学の話　（ノースアジア大学）・・・・・３０

３１　リアルに描かれたアニメの舞台を巡る観光学　（ノースアジア大学）・・・・・３１

３２　留学のすすめ with コロナ　（ノースアジア大学）・・・・・３２

３３　文学でたどる世界遺産の旅Ⅱ　（ノースアジア大学）・・・・・３３

３４　秋田とドイツの「まちづくり」国際比較　（ノースアジア大学）・・・・・３４

３５　国際関係論から見るウクライナ問題　（ノースアジア大学）・・・・・３５

３６　アニメーションを通して英語と文化を学ぶ　（ノースアジア大学）・・・・・３６

３７　明日の私はもっといい　（ノースアジア大学）・・・・・３７

３８　超便利、Excel で効率化を極める　（ノースアジア大学）・・・・・３８

３９　プレゼンスライドで差をつける　（ノースアジア大学）・・・・・３９

４０　高校生のための看護学入門　（日本赤十字秋田看護大学）・・・・・４０

４１　型染でホントの「マイ・バッグ」を作ろう！　（秋田公立美術大学）・・・・・４１

４２　ガラスの性質と造形　（秋田公立美術大学）・・・・・４２

４３　あそびのデザイン　（秋田公立美術大学）・・・・・４３

４４　地域資源クエスト　（秋田公立美術大学）・・・・・４４

４５　多様な子どもと共に育つ保育　（聖霊女子短期大学）・・・・・４５

４６　食品と栄養の基礎知識　（聖霊女子短期大学）・・・・・４６

４７　高校生のための介護福祉入門　（日本赤十字秋田短期大学）・・・・・４７

４８　精密測定入門　（秋田職業能力開発短期大学校）・・・・・４８

４９　人工知能を利用したゲーム制作　（秋田職業能力開発短期大学校）・・・・・４９

５０　建築 CG パース作成技術　（秋田職業能力開発短期大学校）・・・・・５０

５１　教職の世界＜県北会場＞　（秋田大学）・・・・・５１

５２　教職の世界＜県南会場＞　（秋田大学）・・・・・５２

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔1〕ワクワク学ぼう！算数・数学	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部　学校教育課程 講師　加藤 慎一　（計1名）
授業概要	算数・数学を学んでいてワクワクした経験はありますか。身近にある不思議な算数・数学を探る活動を通して，ワクワクしながら算数・数学を学ぶとともに，算数・数学の理解を深めましょう。		
授業方法と留意点	高校生のみなさんが主体的に考えることを大切にします。スライドや黒板を使い，体験的な活動を取り入れながら授業を進めていきます。必要に応じて，資料を配布します。		

授　業　計　画

【募集定員人数１２名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１日（火）17：30～19：00＞

第１講：**「ワクワク学ぼう！算数・数学①「数と式」編」**

身近にある「数と式」の不思議を探る活動を通して，ワクワクしながら「数と式」を学ぶとともに，「数と式」に関する理解を深めましょう。

＜１１月８日（火）17：30～19：00＞

第２講：**「ワクワク学ぼう！算数・数学②「図形」編」**

身近にある「図形」の不思議を探る活動を通して，ワクワクしながら「図形」を学ぶとともに，「図形」に関する理解を深めましょう。

＜１１月１５日（火）17：30～19：00＞

第３講：**「ワクワク学ぼう！算数・数学③「統計」編」**

身近にある「統計」の不思議を探る活動を通して，ワクワクしながら「統計」を学ぶとともに，「統計」に関する理解を深めましょう。

その他	第２講「ワクワク学ぼう！算数・数学②「図形」編」のときに，コンパスと定規を持参してください。		
テキスト	なし		
参考文献	適宜，授業内で紹介します。		
関連科目	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用（※これらの科目を学習していなくても取り組める内容です）		
開講日時	11/1（火）	11/8（火）	11/15（火）
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１－５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：skato@math.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔2〕秋田の今とこれから	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部　地域文化学科 教授　臼木 智昭　（計１名）
授業概要	少子・高齢化が進む秋田の「今とこれから」について解説します。秋田が直面する課題や、秋田の産業のこれから、地域活性化に向けた取り組みなどについて、最新のデータや具体的な事例を交えながらお話します。		
授業方法と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。 地域課題とその解決に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		

授　業　計　画

【募集定員人数５０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１５日（土）11：10～12：40＞

第１講：「秋田の課題」

最新のデータをもとに、秋田県が直面する課題を解説します。

＜１０月１５日（土）13：20～14：50＞

第２講：「秋田の産業－今とこれから－」

秋田県の産業はどのような状況にあって、これからどうなっていくのかを解説します。

＜１０月１５日（土）15：00～16：30＞

第３講：「地域活性化に向けた取り組み」

地域活性化に向けた秋田県内の取り組みを紹介します。

その他			
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	現代社会、政治・経済、公共		
開講日時	10/15（土）		
	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail：conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail: usuki@ed.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔3〕東ヨーロッパの文化を知ろう	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部　地域文化学科 教授　長谷川 章　（計1名）
授業概要	ヨーロッパ東部には「スラブ系」と呼ばれる民族が暮らす地域があります。この地の文化は多様で独自の魅力に満ちています。授業ではその中でも、チェコ、ポーランド、ウクライナ、ロシアの文化について見ていきます。		
授業方法と留意点	こちら側からの講義だけでなく、その都度、コメントを書いてもらって、それに基づいてディスカッションを行うことも考えています。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１日（火）17：30～19：00＞

第１講：「東ヨーロッパはどこにあるでしょう」

ヨーロッパの中で「東欧」の範囲を考え、さらに東欧の中で「スラブ文化圏」が占める位置付けについて講義します。ヨーロッパにはどんな民族や言語があるのかということを、あらためて考えるきっかけにもなるはずです。

＜１１月８日（火）17：30～19：00＞

第２講：「チェコ、ポーランド文化の世界」

チェコやポーランドについて、言葉や文化・芸術の視点から、この地域の特徴を探ります。また、芸術・文化を紹介する際には、特にアニメや映画に焦点を当てていきます。

＜１１月１５日（火）17：30～19：00＞

第３講：「ウクライナ、ロシア文化の世界」

ウクライナやロシアについて、チェコやポーランドとの違いや文化の歴史的発展のあり方を学びます。また、現在の戦争に結びついた歴史的要因についても考えます。

その他			
テキスト	プリントとして授業時に配布		
参考文献	授業で説明		
関連科目			
開講日時	11/1（火）	11/8（火）	11/15（火）
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：hasegawa@ed.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔4〕ジャンヌ・ダルクの預言とその実行	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部　地域文化学科 准教授　佐藤 猛　（計1名）
授業概要	ジャンヌ・ダルクの名を一度は見聞きしたことがあるでしょう。彼女の事績を跡付けるだけではなく、生前死後に残された記録を通して、ジャンヌが壊滅状態のフランスにおいて何を目指し、行動したのかを考えます。		
授業方法と留意点	高等学校等で世界史を履修していなくても受講できます。		

授　業　計　画

【募集定員人数３５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２日（水）17：30～19：00＞

第１講：「中世ヨーロッパ世界と預言」

ジャンヌ・ダルクは自らを預言者、すなわち神のメッセンジャーだとみなしていました。中世ヨーロッパ世界の特徴も念頭に置いて、彼女が思いを伝えた記録を分析し、「預言者」の存在とその役割を考えます。

＜１１月９日（水）17：30～19：00＞

第２講：「オルレアンの攻囲戦と解放」

一方で、ジャンヌ・ダルクは自らをフランス軍の司令官ともみなしていました。1337～1453年まで英仏間で行われた百年戦争を背景に、彼女が戦った中仏オルレアンの攻囲戦について考えます。

＜１１月１６日（水）17：30～19：00＞

第３講：「英軍との戦闘の自制」

ジャンヌ・ダルク登場の背景となった百年戦争では、戦闘よりも時間をかけて和平交渉が行われていました。その中で、ジャンヌは戦闘を望んだといわれていますが、交渉の余地はなかったのでしょうか。

＜１１月３０日（水）17：30～19：00＞

第４講：「処刑から復権そして列聖へ」

ジャンヌ・ダルクはなぜ、処刑されたのでしょうか。また処刑されたのに、なぜ現在崇拝されているのでしょうか。彼女の処刑の理由や死後の伝説について、彼女をめぐる裁判の記録から考えてみます。

その他	筆記用具			
テキスト	なし			
参考文献	佐藤猛『百年戦争ー中世ヨーロッパ最後の戦いー』（中央公論新社、２０２０年）			
関連科目				
開講日時	11/2（水）	11/9（水）	11/16（水）	11/30（水）
	17：30～19：00			
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）			
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：tsato@ed.akita-u.ac.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔5〕覗いてみようメディカルスタッフの研究	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	医学部　保健学科 助教　津軽谷 恵　（計3名）
授業概要	医療職の中でメディカルスタッフと言われている看護職、理学療法士、作業療法士はどのような研究をしているか知っていますか。今まで知らなかった学問の世界が広がる内容です。		
授業方法と留意点	研究と言っても堅苦しい講義ではありませんので是非参加してください。看護職、理学療法士、作業療法士への理解が深まるお話です。		

授　業　計　画

【募集定員人数４８名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月９日（水）17：30～19：00＞　准教授　成田　好美

第１講：「妊婦さんと歯周病　看護職者ができる支援とは？」

妊娠中の歯周病がお母さんや赤ちゃんに与える影響と看護職者ができる支援についてお話しします。

＜１１月１６日（水）17：30～19：00＞　講師　齊藤　明

第２講：「スポーツでの怪我をどう防ぐ？」

スポーツ障害をいかに予防するか？再発を予防するためにどんなアプローチが必要か？理学療法士のあっと驚く技や魅力を紹介します。

＜１１月３０日（水）17：30～19：00＞　助教　津軽谷　恵

第３講：「人にとって作業とは？」

人の日常生活はたくさんの作業の連続から成り立っています。普段何気なく送っている日常生活を作業という視点から分析し，作業療法では作業をどのように用いるかについてお話しします。

その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/9（水）	11/16（水）	11/30（水）
	17：30～19：00		
会場	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）第１講担当者（成田先生）E-mail：yoshimi@hs.akita-u.ac.jp 第２講担当者（齊藤先生）E-mail：ptsaito@hs.akita-u.ac.jp 第３講担当者（津軽谷先生）E-mail：megumi@hs.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔6〕基礎から創薬までを学ぶ生命科学	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	理工学部　生命科学科 教授　尾髙 雅文　（計1名）
授業概要	生命活動で中心的な役割を果たすタンパク質の様々な働きを学ぶことで、生命とはどんなものかをイメージできることを目指します。また、バイオテクノロジーや創薬などの利用技術についてもわかりやすく解説します。		
授業方法と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。「生物基礎」や「化学基礎」を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		

授　業　計　画

【募集定員人数４８名】先着順で募集を締め切ります

（対面授業２４名・オンライン受講２４名の合計４８名を募集します）

＜１０月９日（日）11：10～12：40＞

第１講：**「タンパク質とは何か」**

タンパク質とはどんなものなのか。基礎から始めて、細胞内ではたらくタンパク質について具体的な例を挙げて説明します。高校で生物を学んでいない学生にも理解できるように、基礎から丁寧に講義をします。

＜１０月２３日（日）11：10～12：40＞

第２講：**「タンパク質のかたちとはたらき」**

タンパク質はそれぞれ決まった“かたち”と“はたらき”をもっています。いくつかの特徴あるタンパク質を例に挙げ、“かたち”と“はたらき”に基づいたタンパク質研究例を説明します。

＜１０月３０日（日）11：10～12：40＞

第３講：**「タンパク質の利用技術と創薬」**

タンパク質は工業・農業などの産業、あるいは創薬など様々なところで利用されています。身近な例から先端の創薬技術まで、専門知識がなくてもわかるように、概要を解説します。

その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎、化学		
開講日時	10/9（日）	10/23（日）	10/30（日）
	11：10～12：40		
会場	秋田大学　手形キャンパス　アクティブラーニング棟		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：modaka@gipc.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔7〕最新の遺伝子組換え技術への道	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	理工学部　生命科学科 助教　本田 晴香　（計1名）
授業概要	近年、遺伝子組換え技術が著しい発展を遂げています。この分野は日進月歩で、高校生物の内容と大きな隔たりがあります。この溝を埋められるよう平易な内容から遺伝子治療等最先端の分子生物学の基礎まで解説します。		
授業方法と留意点	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。「生物基礎」や「化学基礎」を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月９日（日）９：30～11：00＞

第１講：「遺伝子とは」

DNA、RNAの種類と役割を説明します。また、DNAにコードされている動物細胞の遺伝子の構造と働きについても詳しく解説します。

＜１０月２３日（日）９：30～11：00＞

第２講：「遺伝子組換えの理論と実際」

遺伝子組換えの歴史について触れつつ、プラスミドの性質や利用法について説明します。また、動物細胞への外来遺伝子の導入や遺伝子破壊の方法について、最新の遺伝子編集技術を含めて解説します。また、それらの技術の産業への応用についての概要も説明します。

＜１０月３０日（日）９：30～11：00＞

第３講：「遺伝子発現ベクターと様々な遺伝子導入法」

プラスミドの基本構造や、細胞への様々な導入方法の利点・欠点について解説します。

その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	プリントに示すとともに授業の中でも紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎		
開講日時	10/9（日）	10/23（日）	10/30（日）
	9：30～11：00		
会場	秋田大学 手形キャンパス アクティブラーニング棟		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：h-honda@gipc.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔8〕化学の目で最新のニュース解説 (化学の視点でニュースを理解しよう)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	理工学部　物質科学科 教授　寺境 光俊　（計3名）
授業概要	化学は、縁の下の力持ちとして，現代社会の様々な分野で活用されています。本授業では最近ニュースで話題になっているトピックスを取り上げ，化学の視点から原理や問題点などを分かり易く解説します。		
授業方法と留意点	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、最新の話題を化学の観点から易しく楽しく解説したいと思います。		

授　業　計　画

【募集定員人数４５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１９日（土）9：30～11：00＞　教授　寺境　光俊

第１講：「マイクロプラスチック問題とは？」

プラスチック材料は我々の社会で欠かすことの出来ない素材となっていますが，最近はマイクロプラスチック問題という新たな課題に直面しています。高分子化学の観点から分子構造と特性について分かり易く解説します。

＜１１月１９日（土）11：10～12：40＞　教授　大川　浩一

第２講：「リチウムイオン電池の仕組みと魅力を理解しよう」

今や生活の必需品であるスマートフォン。その電力供給源は，2019年のノーベル化学賞で注目された「リチウムイオン電池」です。その仕組みや魅力について，電気化学の視点から分かり易く解説します。

＜１１月１９日（土）13：20～14：50＞　教授　後藤　猛

第３講：「生化学の視点からウイルスについて学ぶ」

ウイルスってなに？新型コロナウイルスとはどのようなウイルス？PCRとは？毎日ニュースで耳にするワードを生化学の視点から分かり易く解説します。

その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	化学		
開講日時	11/19（土）		
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館2階 229講義室		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：mjikei@gipc.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔9〕高校生のための自殺予防学入門 （自殺予防の知識とスキルは自分と大切な人を守る）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	自殺予防総合研究センター 特任助教　宮本 翔平　（計2名）
授業概要	高校生へのSOS教育が義務化されていますが、体系的に自殺予防について学べる機会は多くありません。本講座は、自殺予防の知識とスキルを身につけることを目的に授業を展開します。		
授業方法と留意点	なし		

授　業　計　画

【募集定員人数２０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１１日（金）17：30～19：00＞　特任助教　宮本　翔平

第１講：「自殺予防学入門」

なぜ、人は自殺するのでしょうか？自殺は予防できるのでしょうか？この２つの問いについて一緒に考えます。

＜１１月１２日（土）9：30～11：00＞　特任助教　宮本　翔平

第２講：「高校生のためのセルフケア-コーピング特性とSOS-」

あなたは悩みやストレスを感じた時にどのようにして対処しますか？ストレスコーピング理論をもとに、自分のストレス対処特性を考えます。また、SOSの出し方について学習します。

＜１１月１２日（土）11：10～12：40＞　特任助教　宮本　翔平

第３講：「高校生のためのSOSの出し方実践」

第２講で学習したSOSの出し方について、ソーシャルスキルズトレーニングを行います。また、自分が危機に陥った際にどのような対処を行えばよいかを考える演習を行います。

＜１１月１３日（日）9：30～11：00＞　准教授　佐々木　久長・特任助教　宮本　翔平

第４講：「高校生のためのゲートキーパー養成①」

あなたの周りに「死にたい」とサインを出している人はいませんか？その人たちに自信を持って対応できますか？自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行うための知識とスキルを習得します。

＜１１月１３日（日）11：10～12：40＞　准教授　佐々木　久長・特任助教　宮本　翔平

第５講：「高校生のためのゲートキーパー養成②」

第4講で学習したことをもとに演習を行います。

＜１１月１４日（月）17：30～19：00＞　特任助教　宮本　翔平

第６講：「ソーシャルサポートと自殺予防学入門のまとめ」

あなたは自分の周りに助けてくれる人はいますか？その助けてくれる人はどういう役割をしていますか？ソーシャルサポートを学習し、助けてくれる人の種類や効果を勉強します。また、今回の講座のまとめを行います。

その他						
テキスト	特になし					
参考文献	各回の授業の最後にお知らせします					
関連科目						
開講日時	11/11（金）	11/12（土）	11/12（土）	11/13（日）	11/13（日）	11/14（月）
	17：30～19：00	9：30～11：00	11：10～12：40	9：30～11：00	11：10～12：40	17：30～19：00
会場	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし					
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp					
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：miyamoto@gipc.akita-u.ac.jp					

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔10〕教職の世界＜中央会場＞ (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授　伊藤 成年
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案　(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方法と留意点	授業は講義と演習を組み合わせて行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		

授　業　計　画

【募集定員人数４０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１５日（土）10：30～12：00＞

第１講：「教職の世界とその魅力」

自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。

＜１０月１５日（土）13：00～14：30＞

第２講：「学習指導案の読み取りと学習指導案(略案)の作成」

学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て･評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、学習指導案の様式や見方、実際に教育専門監の授業に使われた学習指導案について学びます。

＜１０月２２日（土）10：30～12：00＞

第３講：「教育専門監による授業ビデオの視聴を通して教師の表現力や課題設定力を学ぶ」

授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオ視聴を通して、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「めあて・学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。（公立中学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１０月２２日（土）13：00～14：30＞

第４講：「児童生徒の興味・関心を引きつける授業の在り方について」

教育専門監の授業ビデオの視聴やサンプルの学習指導案をもとに、児童生徒の興味・関心を引きつける授業（特に導入部分）の在り方や演じ方について考察します。また、特定教材の導入部分の学習指導略案をグループで協議しながら作成し練り上げ発表します(グループ協議・演習)。（公立小学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１０月２９日（土）13：00～14：30＞

第５講：「秋田県教育の特色(全国学力･学習状況調査結果等の分析から）及び教師に必要とされる資質・能力について」

全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活状況、家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。

その他	15日、22日は昼食を持参ください。（昼食時間　12:00～13:00）				
テキスト	なし（講義資料を配布する）。				
参考文献	なし。				
関連科目					
開講日時	10/15（土）		10/22（土）		10/29（土）
	10：30～12：00	13：00～14：30	10：30～12：00	13：00～14：30	13：00～14：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）				
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp				

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業 （※第3講のみリアルタイム遠隔授業）	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔11〕高校物理で理解する AI・ロボット・メカトロニクス	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 准教授　戸花 照雄　（計5名）
授業概要	メカトロニクスは、古くより自動化・産業用ロボットなどと深く関係しています。今、AIなどの新技術の台頭でメカトロニクスをめぐる環境も大きく変化しています。これを5名の講師陣が高校で学ぶ物理学などの様々な視点から講義します。		
授業方法と留意点	オムニバス形式で行います。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２８日（金）17：30～19：00＞　**准教授　戸花　照雄**

第１講：**「AI・ロボットを支える無線通信技術」**

AI・ロボット技術において無線通信技術は欠かせないものになっています。本講義では高校物理で学ぶ電磁気学の基礎と広く使われている無線通信技術について説明をします。

＜１１月４日（金）17：30～19：00＞　**准教授　本間　道則**

第２講：**「液晶素子は摩擦を利用して作られている」**

液晶はテレビに限らず、センサやアクチュエータなどメカトロニクス分野での利用も提案されています。講義では、そのような液晶の面白い利用例に加えて、製造過程において「摩擦」が利用されていることについて紹介します。（アクチュエータとは、電気エネルギーなどを機械的な運動に変換する装置のことです。）

＜１１月１１日（金）17：30～19：00＞　**准教授　岡本　洋**　※リアルタイム遠隔授業

第３講：**「高校物理から考える量子テクノロジー・量子計測」**

近年、量子コンピュータをはじめとする量子テクノロジーが話題です。これはミクロの世界の不思議な法則をよりよい情報処理に利用するものです。高校物理で習う光の波動性は、量子の世界への入り口です。

＜１１月１８日（金）17：30～19：00＞　**教授　齋藤　敬**

第４講：**「いのちを守るロボット技術」**

ロボットの研究開発には物理・化学含む総合的な知見が不可欠です。本講義では生物化学を背景にした細胞改変ロボットと、物理を背景にした雪下ろしロボット等について、その成り立ちや要点を解説します。

＜１１月２５日（金）17：30～19：00＞　**准教授　伊藤　亮**

第５講：**「人工知能の歴史と機械学習の基礎」**

本講義では，人工知能研究の歴史的背景に加え，単純なモデルを使って手計算で機械学習のメカニズムを学ぶことで，なぜ現在機械学習がブームになっているのかを体感することを目指します。

その他					
テキスト	なし				
参考文献	なし				
関連科目	なし				
開講日時	10/28（金）	11/4（金）	11/11（金）	11/18（金）	11/25（金）
	17：30～19：00				
会場	カレッジプラザ（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）※11/11（金）のみ遠隔授業				
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp ※11/11についての連絡先･･･第３講担当者（岡本先生）　E-mail: okamoto@akita-pu.ac.jp				

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔12〕コンピュータ，もっと役に立ちます	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授　寺田 裕樹　（計3名）
授業概要	私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的考え方や様々な技術の活用法を学びます。		
授業方法と留意点			

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１１日（火）17：30～19：00＞　准教授　寺田　裕樹

第１講：「バーチャルな世界を創る」

コンピュータを使って現実と同じような世界を体験します。

＜１０月１８日（火）17：30～19：00＞　助教　橋浦　康一郎

第２講：「プログラムを作ってみよう」

ビジュアルプログラミングを用いて簡単にプログラムを作る方法を紹介します。

＜１０月２５日（火）17：30～19：00＞　准教授　松下　慎也

第３講：「タブレット端末を使ったロボット制御」

タブレット端末を使って「LEGO MINDSTORMS」と呼ばれるロボットの動きを制御します。

その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	10/11（火）	10/18（火）	10/25（火）
	17：30～19：00		
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス K336		
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔13〕ヨーロッパの駅にみる 街における駅の役割 （シリーズ建築を旅する）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授　込山 敦司　（計1名）
授業概要	人が様々な目的で集う「駅」のヨーロッパでの事例をとりあげ，建築的な特徴や，新しい駅のありかた，街の顔としての駅，といったテーマで，鉄道駅の建築空間のデザインについて考える機会とします。（前期のミュージアムに続く「シリーズ建築を旅する」の2回目）		
授業方法と留意点	昨年度後期の「ヨーロッパの駅」の内容のアップデート版となりますので，昨年度受講した方はご注意下さい。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２９日（土）13：20～14：50＞

第１講：**「歴史あるターミナル，新しい首都の顔」**

ライプツィヒ中央駅，アムステルダム中央駅，ミラノ中央駅など，行き止まり式の伝統的なヨーロッパの鉄道駅建築と，新しい首都の顔として新設されたベルリン中央駅などの解説を行います。

＜１１月５日（土）13：20～14：50＞

第２講：**「特徴あるデザインや新旧の融合の試み」**

建築家による大胆なデザインや新旧駅の融合などの試みについて，ドレスデン中央駅，リエージュ・ギユマン駅，ストラスブール中央駅，シュトゥットガルト中央駅（進行中プロジェクト）などについて解説します。

その他		
テキスト		
参考文献		
関連科目		
開講日時	10/29（土）	11/5（土）
	13：20～14：50	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔14〕リスクで分かる判断と違いの心理 （医療・生活・科学技術・政策すべてに役立つリスクリテラシー）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授　金澤 伸浩　（計1名）
授業概要	リスクを確率で定義すると、何がどれくらい危ないかが整理でき、行動の判断や他人の価値観の理解につながります。リスクの特性やリスクに対する感覚の違いの元になる心理の特性についても学びます。		
授業方法と留意点	参加型で気づきを通して学んでいく授業です。開講時期に感染予防対策として生徒同士の会話を避ける必要がある場合には、講話形式とします。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月８日（土）13：20～14：50＞

第１講：「リスクとは何か」

様々な意味で使われるリスクという言葉を確率で定義することで、危ないものに対する判断や他人の価値観が分かることを学んでいきます。科学技術や社会の今後を考える基礎にもなります。

＜１０月８日（土）15：00～16：30＞

第２講：「リスク認知のバイアス」

リスクの大きさは直感的に捉えがちです。ヒューリスティクスなど心理学的要因により、リスクの受け止め方に違いが出てしまう現象を体感しながら学びます。

その他		
テキスト		
参考文献		
関連科目		
開講日時	10/8（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔15〕データと数学 （高等学校で学んでいる数学は とても役に立っています）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授　星野 満博　（計1名）
授業概要	高等学校で学ぶ数学は、様々なところで活用され、役に立っています。経営科学・応用数学・データサイエンスの内容を身近な例をもとに紹介します。データ・最適化・意思決定と数学の使われ方が主なテーマです。数学が得意な人も、そうでない人も勉強できます。		
授業方法と留意点	経営科学・応用数学・データサイエンスの入門的内容で演習形式（参加型）の授業です。数学がどのように応用されているのか、例題を用いて学びます。大学での高度な数学や経営科学・データサイエンスについても紹介します。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月８日（土）11：30～13：00＞

第１講：**「不確実性を伴う数理意思決定」（高校関連項目→確率）**

現代社会において、不確実性と意思決定は非常に重要なキーワードです。例として買い物を考えます。何かを購入するときに、同じものであれば、できるだけ安く買いたい、その際、買うタイミングというのも一つの重要なファクターになります。今は買い時なのか、それとも今回パスして次回に買うべきか？このような未来の不確実な状況下での意思決定を、数学を使って考えてみましょう。この問題は高校数学とも関連していて、高度な数学が背景にあります。

＜１０月８日（土）13：40～15：10＞

第２講：**「在庫管理の数理」（高校関連項目→関数の最大最小，微分）**

商品を作って／仕入れて、お客さんに販売するという場面において、その商品の製造／仕入れの個数（量）は重要な要素の一つとなります．たくさん作り／仕入れすぎると売れ残りが生じて損失を生みます。また，逆に，少なすぎると得られたはずの利益が無くなる等、こちらも良くありません。お客さんが購入したいと思う量（需要）に応じた最適な商品の個数を求める必要があります。この問題について，数学を用いて考えてみましょう。

＜１０月８日（土）15：20～16：50＞

第３講：**「データサイエンス入門」（高校関連項目→統計，平均値）**

ここでは、主に時間の経過と共に変化するデータを扱い、データの特徴を見つける為の分析手法を紹介します。例えば、上記の第2講の問題では、分かっている過去のデータから、分かっていない先の／来月の需要がどのくらいあるのかを予測できると、問題解決に向けて大きく前進できます。

その他	※ 電卓を使用します（スマートフォン等の電卓アプリ可能）．　※ 文系理系問わず、基本的な内容から解説します。　※昼食時間を考慮し、講義時間を一部変更する場合があります。		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
関連科目	数学、情報		
開講日時	10/8（土）		
	11：30～13：00	13：40～15：10	15：20～16：50
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔16〕日本人のための英会話基礎的練習	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授　山崎 健一　（計1名）
授業概要	英語によるスピーキングを行う際の特徴と解決法を指導する。ペアワークによる英語スピーキング練習を行い、日本人同士での英会話練習を行う。継続的に行える英会話練習法など、英会話の導入的練習を行う。		
授業方法と留意点	英会話に関する基本的な指導は行うが、日本人学生同士による英会話練習が主な内容である。高い英語力は必要ないものの、英語でコミュニケーションをとる意欲のあるものが望ましい。また、基本的な英会話練習なので、すでに英会話練習を積んでいる学生には不向きである。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１４日（月）17：30～19：00＞

第１講：「英会話の基礎知識」

日本語と英語の根本的な違いから始め、日本人が陥りがちな英会話における問題点の解決法を明示する。その後、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。

＜１１月１６日（水）17：30～19：00＞

第２講：「高校英語で英会話」

高校で学ぶ英語がいかに英会話に役に立つかを明示する。反復練習ののち、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。

＜１１月２１日（月）17：30～19：00＞

第３講：「継続的英会話練習法」

一人でも継続的に練習できる英会話練習法を明示する。その後、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。

その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/14（月）	11/16（水）	11/21（月）
	17：30～19：00		
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス K334		
欠席連絡先	秋田県立大学　本荘キャンパス 電話：0184-27-2071（平日9：00～17：00）　E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔17〕世界のために生物生産科学で何を学ぶ？ （人類を救う食料生産研究）	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部　生物生産科学科 准教授　阿部 誠　（計5名）
授業概要	生物生産科学科では、これから先も人類が安心して生活できるために、食料生産に関する様々な研究に取り組んでいます。基礎から応用、ミクロ（分子レベル）からマクロ（畑・田んぼレベル）まで多岐にわたる、生物生産科学科の研究を紹介します。		
授業方法と留意点	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。生物や農業が好きな方はもちろん、食や理科全般に興味のある皆さんの受講も大歓迎です。		

授　業　計　画

【募集定員人数２０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１５日（土）11：10～12：40＞　**助教　曽根　千晴**

第１講：**「アフリカの食文化と稲作」**

遠く感じるアフリカ大陸でも日本と同じく米がたくさん食べられていますが、その食文化や稲の栽培方法には大きな違いもあります。今後アフリカと日本間の人や物のやり取りは益々増加していくでしょう。日本とは何が違って何が同じなのか、アフリカの環境で作られている「稲」の姿を紹介します。

＜１０月１５日（土）13：20～14：50＞　**准教授　阿部　誠**

第２講：**「昆虫食は世界を救う？！」**

昆虫食がちょっとした話題になっています。昆虫を食料とすることは人類を救い、さらに環境にもやさしいのでしょうか？実際、あなたは昆虫を食べることができますか？昆虫食の良い点と問題点について、一緒に考えてみましょう！

＜１０月１５日（土）15：00～16：30＞　**教授　藤　晋一**

第３講：**「人と環境に優しい病害防除」**

農作物を安定して生産するために、化学農薬を使用した病害虫防除が広く行われています。人と環境に優しい農業への取り組みとして、化学合成農薬に依存しない病害虫防除技術が開発・実用化されています。これら新しい技術についてわかりやすく解説します。

＜１０月２２日（土）11：10～12：40＞　**教授　小峰　正史**

第４講：**「食糧生産とエネルギー　～持続可能な農業のあり方～」**

現代の農業は，エネルギーをたくさん使うことによって作物を生産しています。食糧生産のどの場面でエネルギーが使われているのでしょうか？ 農業分野におけるエネルギー消費の実態と，再生可能エネルギーを活用した農業のあり方について分かりやすく解説します。

＜１０月２２日（土）13：20～14：50＞　**准教授　上田　健治**

第５講：**「ゲノム編集って何？遺伝子組換えとは違うの？」**

新しい遺伝子改変技術であるゲノム編集は、注目した遺伝子の働きを調べる基礎研究から、動植物の品種改良やヒトの病気の治療にまで幅広く利用されています。ゲノム編集の現状と今後について解説します。

その他	当日は、大曲駅－農業科学館間の送迎バスを運行します。受講者決定後、バス乗車の有無について確認しますので、申込時に記載するメールアドレス宛ての連絡を必ず確認してください。				
テキスト	授業ごとに資料を配布します				
参考文献	授業で紹介します				
関連科目	生物生産科学（食文化、食料生産、再生可能エネルギー）、農学（稲作、病害虫防除）、生物学（植物、遺伝、昆虫）				
開講日時	10/15（土）			10/22（土）	
	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30	11：10～12：40	13：20～14：50
会場	秋田県立農業科学館				
欠席連絡先	秋田県立大学　秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9：00～17：00）　E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp				

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔18〕英語でVRツーリズム体験 (Using VR for Tourism and Language)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 タッカー・ジェイソン・エドワード (計1名)
授業概要	Virtual reality technology has made it possible to experience tourism and language in new ways. Using an oculus quest 2 head set or a PCVR headset you can learn neccesary language for travel and virtually go to places around the world without ever leaving your home. （バーチャルリアリティ技術により、新しい方法で観光や他言語を体験することが可能になりました。Oculus Quest 2ヘッドセットやPCVRヘッドセットを使えば新たな言語に触れたり、家にいながら世界中の場所にバーチャル上で行くことができます。授業では、英語を使い、VRツーリズムを体験してもらいます）		
授業方法と留意点	Bring an electronic dictionary, and a notebook. Speaking and participation in Activities will be mainly in English and some Japanese. （電子辞書とノート持参すること。授業は主に英語だが補助的に日本語も使用します。VRヘッドセット数に限りがあるため、生徒が共同で使用する必要があります。その都度消毒して使います。）		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１３日（木）17：30～19：00＞

第１講：「VR for virtual tourism.」

Students can experience the different ways that VR can be used to tour many different exotic locations, countries, ancient tombs, or the deep sea. Students will be able to use some VR headsets for the experiences. Students must share the VR headsets as they are expensive and limited.

（生徒は珍しい場所や国、古墳、深海などを巡ったり、VR上で様々な体験ができます。
その際VRヘッドセットを使用することができますが、高価で数に限りがあるため、機材を共有してもらうことになります。）

＜１０月２０日（木）17：30～19：00＞

第２講：「VR for language learning.」

Students can experience the different ways that VR can be used to learn language, such offline applications and online chat group applications. Students will be able to use some VR headsets for the experiences. Students must share the VR headsets as they are expensive and limited.

（生徒は、オフラインのアプリやオンラインのチャットグループのアプリケーションなど、言語学習において様々な体験ができます。）

その他		
テキスト	ワークシートを配布する予定。	
参考文献	無し	
関連科目	VR, ツーリズム, 英語	
開講日時	10/13（木）	10/20（木）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	秋田県立大学　秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9：00～17：00）　E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田県立大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔19〕不思議な木 （ー来て・見て・作ろうー）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	木材高度加工研究所 教授　高田 克彦　（計4名）
授業概要	大館の曲げわっぱ、どうやって作るか知っていますか？　この講義ではその原理を解説するとともに、その原理を利用してペットボトルに入った木を実際に作ってみます。木の不思議な世界を体験しませんか？		
授業方法と留意点	物を作るには、そうなる原理があります。その原理も各自に考えてもらい、学ぶだけでなく、実際に見て、体験して、作ることがこの授業の方針です。授業に積極的に参加して、自分で作った不思議な木を持ち帰って下さい。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２２日（土）9：30～11：00＞　教授　高田　克彦

第１講：「木を曲げる」

森林・木材に関する基本的な事項を学ぶとともに、曲げわっぱ等の木材の変形の原理を学ぶ。

＜１０月２２日（土）11：10～12：40＞　准教授　足立　幸司

第２講：「ペットボトルに入った木を作ろう」

第１講をもとに、どうやったらペットボトルに木を入れることができるか考え、実際にやってみる。

＜１０月２２日（土）13：20～14：50＞　教授　栗本　康司

第３講：「ねじれる木を作ろう」

木をねじる？そんなことができるの？　ここではその原理を学び、実際に作ってみる。

＜１０月２２日（土）15：00～16：30＞　准教授　渋谷　栄

第４講：「木の特性を変える」

木材のもつ性質に「狂う」、「腐る」、「燃える」があげられる。本講では、これらの性質を化学的手法により変えることを学び、多様な木材利用について考える。

その他				
テキスト	当日、講義内容をまとめたプリント教材を配布します。			
参考文献	コンサイス木材百科（秋田文化出版）、森林科学シリーズ４「フォレスト・プロダクツ」（共立出版）			
関連科目	物理、化学、生物			
開講日時	10/22（土）			
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）			
欠席連絡先	秋田県立大学　秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9：00～17：00）　E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	**大学等名**	国際教養大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔20〕国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部　国際教養学科 教授　奈良 寧　（計3名）
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方法と留意点	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。新型コロナウイルス感染症の状況により、Zoomをしようしたオンライン講義に変更する可能性があります。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１２日（土）11：00～12：30＞　教授　奈良　寧

第１講：「地上でビックバン直後の状態を作ろう」

物質の極限状態とはどのようなものであろうか?ビックバン直後の初期宇宙は超高温であった。一方、大きな星の最後の状態である中性星の中心部は、宇宙で最も密度が高い状態である。本講義では、物質の極限状態についての最新の研究成果を紹介する。（講義は日本語で行います。）

＜１１月１２日（土）13：20～14：50＞　助教　DU Wenti

第２講：「Winners and Losers from International Trade」

It has been a general consensus among economists that international trade brings overall benefits to the world. However, increasing trade across countries is not only likely to create winners but is also likely to create losers. This lecture provides an analysis of trade policy on contemporary issues related to international trade.（講義は英語で行います。）

＜１１月１２日（土）15：00～16：30＞　准教授　HYUN Ki Deuk

第３講：「A First Step to understanding Mass Media 」

We spend much time in consuming mass media, like news, dramas, movies, advertisement, and others. Our continuous media use influences the way we think about the world and how we behave, and therefore it becomes necessary to develop the ability to understand, analyze and evaluate mass media. This lecture will introduce some basic concepts like elements and techniques used to make mass media texts to help students make sense of their media experiences.（講義は英語で行います。）

その他			
テキスト	特になし（担当教員が各講義において、資料を配布することがある。）		
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/12（土）		
	11：00～12：30	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	国際教養大学 電話（入試室）：018-886-5931（平日9：00～17：00）　E-mail: admissionoffice@gl.aiu.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔21〕なぜ学校は必要なのか？ （『脱学校の社会』から）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 准教授　市原 光匡　（計1名）
授業概要	情報化の進展に伴って、学校以外のさまざまな場で知識や技術を獲得できるようになるなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。		
授業方法と留意点	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布し、それに沿って授業を進めていきますが、みなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、みなさんなりに考えておいていただきたいと思います。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月６日（木）17：30～19：00＞

第１講：「教育病理と脱学校論」

学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。

＜１０月１３日（木）17：30～19：00＞

第２講：「なぜ脱学校は実現しないのか？」

イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。

その他		
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。	
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』[The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳，東京創元社，1977.	
関連科目	公共	
開講日時	10/6（木）	10/13（木）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：ichihara@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔22〕民俗学への招待	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 教授　鎌田 幸男　（計1名）
授業概要	民俗学は記録に残されない人間の歴史や文化について研究する学問です。その基礎的資料は民間伝承です。こうした生活文化を再構築しようとする学問が民俗学なのです。本講義では男鹿のナマハゲ行事を通じて考えようとするものです。		
授業方法と留意点			

授　業　計　画

【募集定員人数３６名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１４日（金）17：30～19：00＞

第１講：「伝統的な民俗行事・男鹿のナマハゲ」

藩政期の男鹿は男鹿島と記録されています。旧男鹿市、旧若美町，旧天王町の3地域で構成されています。この3地域で男鹿のナマハゲ文化圏を形成していたように考えられます。本講義ではナマハゲ行事の本質は何か、その正体は何か。またどのような気持ちで迎えているのかなどを考えます。

＜１０月２１日（金）17：30～19：00＞

第２講：「伝統的な民俗行事・男鹿のナマハゲ」

民間伝承を理解するにはフィールドワークに出ることが欠くことのできない要素なのです。単なる現地見学ではないのです。行事の事前準備、ナマハゲの心得、訪問の作法、迎える側の意識，終了までの一連の内容をつぶさに見学・調査することなのです。フィールドワークのあり方、意義もここにみいだせるのです。

その他		
テキスト		
参考文献		
関連科目		
開講日時	10/14（金）	10/21（金）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：ykamada@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔23〕クリスマス商戦などで学ぶ 国際ビジネス	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 教授　坂元 浩一　（計1名）
授業概要	日本や西欧における商戦を説明する。筆者の外国語学習（English et Français、その他）、国際連合など国際機関勤務の経験、フランス・パリなどでのインタビュー、アジアを含む63か国を166回訪問した経験を反映した授業。専門分野は、海外投資論とマーケティング論である。		
授業方法と留意点	プリントを配布する。欧州や東京で収集したカタログや商品の実物も使う。英語と英語以外の欧州の言語（英語、フランス語、スペイン語など）にも関心のある方の受講を期待する。		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１８日（火）17：30～19：00＞

第１講：「国際ビジネス、特にマーケティングの実際　（実際の店頭の商品を取り上げて）」

一般論に加えて、多くの事例を取り上げる。例えば、米国のスターバックスやマクドナルド、日本のセブンイレブンやデパート。主な都市（パリ、ロンドンなど）の地図を使いながらのサーベイも行う。

＜１０月２５日（火）17：30～19：00＞

第２講：「国際ビジネス、特にマーケティングの実際　（パリを中心に）」

他の事例として、パリを中心としたフランスのブランド。高級チョコレート『王妃マリー・アントワネットのピストル』、『ロレーヌの真珠』など具体的な商品を題材と　して取り上げる。

その他		
テキスト		
参考文献		
関連科目		
開講日時	10/18（火）	10/25（火）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：k.sakamoto@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔24〕ドイツ語へのいざない （ドイツ語とドイツ語圏文化の紹介）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 准教授　西巻 丈児　（計1名）
授業概要	ドイツ語に特有な、発音・発声を実際にしたり、ごく初歩の基礎的な言い回しを覚えたりしながら、ドイツ語での簡単なコミュニケーションを練習してみます。また授業では、コラムや映像などを通じてドイツ語圏の文化にもたくさん触れていきます。		
授業方法と留意点	初めての言語であるドイツ語を、実際に何度も発音してみますので、積極的に参加してください。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１９日（水）17：30～19：00＞

第１講：「ドイツ語のabc、あいさつとドイツ文化」

ドイツ語のabcとドイツ語のあいさつを、実際に口にして練習します。また、ドイツの文化を学んでいきます。

＜１０月２６日（水）17：30～19：00＞

第２講：「ドイツ語での自己紹介とオーストリア文化」

ドイツ語のごく初歩の言い回しを練習して、自己紹介をしてみます。また、ドイツ語圏のオーストリアの文化を学んでいきます。

その他		
テキスト	講義資料を配布します。	
参考文献	講義の中で、適時紹介します。	
関連科目		
開講日時	10/19（水）	10/26（水）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：nishimaki@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔25〕日商簿記2級の工業簿記を学ぼう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 教授　國井 法夫　（計1名）
授業概要	日商簿記2級に合格するために工業簿記を学ぶ。簿記の基礎を学びながら工業簿記・原価計算に関する話をわかりやすくしていきます。		
授業方法と留意点	基礎的な部分を重視して問題演習をやることで力をつけていきたいと思います。		

授　業　計　画

【募集定員人数８名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２８日（金）17：30～19：00＞

第１講：「工業簿記とは何か・工業簿記のしくみ・材料費計算」

工業簿記とは・原価計算とは・原価とは・工業簿記のしくみ・材料費とは・その分類並びに材料費の計算と記帳等について話をします。

＜１１月４日（金）17：30～19：00＞

第２講：「労務費計算・経費計算・製造間接費計算」

製品を製造するために必要な人件費の計算、材料費・労務費以外のすべての原価の計算の問題演習を行います。さらに、配賦差異の原因分析・間接材料費・間接労務費・間接経費の計算について問題演習します。

＜１１月１１日（金）17：30～19：00＞

第３講：「部門費計算・個別原価計算・総合原価計算」

費目別計算後、製造原価を原価部門に集計、受注生産に対して行う原価計算、大量生産する企業が採用する原価計算の方法について問題演習を行います。

＜１１月１８日（金）17：30～19：00＞

第４講：「標準原価計算・CVP分析(原価・営業量・利益関係の分析)」

原価を予定額で計算する標準原価計算を学ぶとともに、利益をあげることができる商品の売上高はいくらかを知るための損益分岐点分析()CVP分析）について学びます。

＜１１月２５日（金）17：30～19：00＞

第５講：「直接原価計算・製品の完成・販売の記帳」

直接原価計算について説明し、損益分岐点分析に必要な情報を得られるようにする。続いて見込み生産・受注生産のそれぞれの会計処理を学びます。

＜１２月２日（金）17：30～19：00＞

第４講：「営業費計算・工場会計の独立」

営業費とは販売費および一般管理費を言います。この営業費は原価計算基準では5つに分類しています。この分類方法について学びます。本社会計から工場会計を分離独立させることを工場会計の独立という。ここで工場会計の独立による仕訳の処理について学びます。

その他						
テキスト	プリント					
参考文献						
関連科目	商業簿記2級					
開講日時	10/28（金）	11/4（金）	11/11（金）	11/18（金）	11/25（金）	12/2（金）
	17：30～19：00					
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）					
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp					
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：921norio@gmail.com					

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔26〕キリスト教、ヨーロッパ、政治思想	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 講師　中村 逸春　（計1名）
授業概要	キリスト教とは、どのような宗教でしょうか？また、ルターやカルヴァンの宗教改革とは、何だったのでしょうか？さらには、宗教改革と近代の関係とは？この授業では、これらの問いについて一緒に考えていきます。		
授業方法と留意点	当日は、プリントを配布して、講義を行います。筆記用具だけ持参してください。		

授　業　計　画

【募集定員人数２０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１４日（金）17：30～19：00＞

第１講：「キリスト教とは？　宗教改革とは？」

キリスト教とは、どのような宗教なのか。また、ルターやカルヴァンの宗教改革とは、何だったのか。今回は、キリスト教と政治との関係に焦点をあてつつ、こうした問いについて考えます。

＜１０月２１日（金）17：30～19：00＞

第２講：「宗教改革と近代の関係とは？」

宗教改革と、近代という時代との関係は、どのようなものでしょうか。今回は、フランスの宗教内乱やイギリスの市民革命などの事例を紹介しつつ、この点について考えます。

その他		
テキスト	毎回、授業の内容をまとめたプリントを配布します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目	世界史、倫理、現代社会、政治経済、政治学、政治思想史、法学、社会学、経済学、哲学	
開講日時	10/14（金）	10/21（金）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：nakamura@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔27〕権利のコストを考える (民事裁判と訴訟費用について)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　法律学科 准教授　應本 昌樹　（計1名）
授業概要	交通事故など紛争を裁判で解決するには、かなりの費用を伴います。費用が調達できなければ、権利実現の断念にもなりかねません。本科目では、裁判費用やその調達方法について学び、権利のコストについて考えます。		
授業方法と留意点	主に講義形式によりますが、受講生に対し、発問し、回答を求めることがあります。積極的な質問や意見表明を歓迎します。		

授　業　計　画

【募集定員人数２０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１０日（木）17：30～19：00＞

第１講：「民事紛争とその解決について」

われわれが出会う可能性のある民事紛争にはどのようなものがあるか、その解決はどのような過程で図られるのか、講師自身の弁護士としての経験にも触れながら、交通事故や契約トラブルなどを例に解説します。

＜１１月２２日（火）17：30～19：00＞

第２講：「わが国の民事裁判制度について」

わが国の民事裁判について、裁判所の成立ちや手続の原則、裁判を支える人々、デジタル化の進展などについて、欧米諸国との比較も交えながら、その特徴を学びます。

＜１１月２９日（火）17：30～19：00＞

第３講：「裁判費用とその調達方法について」

裁判費用にはどのようなものがあるのか、それをだれが負担するのか、費用を調達する仕組みにはどのようなものがあるか、欧米諸国の例と比較しながら、わが国における特徴や課題を考えます。

その他			
テキスト	指定しない。毎回資料を配布する。		
参考文献	授業の中で紹介する。		
関連科目			
開講日時	11/10（木）	11/22（火）	11/29（火）
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：omoto@nau.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔28〕秋田の未来は明るいぞ！ (洋上風力発電と秋田)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　法律学科 講師　鬼塚 隆政　（計1名）
授業概要	秋田の未来は明るいぞ！ 秋田県沖に今後多数設置される洋上風力発電は希望の光！洋上風力発電の基礎知識、街の発展を秩序あるものに導く方法（都市計画）、産業発展を支える金融などについて考えましょう。		
授業方法と留意点	洋上風力発電を題材に、地域社会が発展する仕組みについて説明し、社会人となってから社会のために何をしたいのか、そのために大学で何を学ぶべきかを考えるための基礎知識習得をめざします。 そのため、あまり詳細には立ち入らず、概略をわかりやすく説明します。		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１５日（土）11：10～12：40＞

第１講：「洋上風力発電とは」

現在、「節電」が合言葉

日本のエネルギー事情と洋上風力発電の必要性、洋上風力発電の基礎知識についてとりあげます。

＜１０月２９日（土）11：10～12：40＞

第２講：「洋上風力発電がもたらす地域社会への影響～効果は続くよ いつまでも～」

洋上風力発電は設置して終わりではありません。稼働後も修理・メンテナンスに携わる関連企業が集まり、街は大きく成長します。秩序ある街づくりの仕掛け（都市計画法）、企業の資金繰りの仕組み（金融）について取り上げます。

その他		
テキスト	特にありません。毎回スライドを作成し配布します。	
参考文献	適宜スライドにて紹介します。	
関連科目	行政法、民法、金融論	
開講日時	10/15（土）	10/29（土）
	11：10～12：40	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：onitsuka@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔29〕心理学で命を守る (サイコパスから災害まで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部　法律学科 准教授　瀧澤 純　（計1名）
授業概要	身近にある事件、事故、災害。このような危険から自分や誰かを守るために、危険をとりまく「人の心理」に着目することが有効です。身近な人間関係だけでなく、情報やメディアなど、世の中についても考える授業です。		
授業方法と留意点	2020年度冬の「自分を守り、誰かを守る心理学」の一部を変更した授業です。その場での実験やアンケートなど、体験する時間が多くあります。筆記用具を持参してください。		

授　業　計　画

【募集定員人数６０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２２日（土）13：20～14：50＞

第１講：「サイコパスから命を守る」

よくあるサイコパス診断は間違っています。心理学による本物のサイコパステストを行いましょう。共感性をキーワードにして、心や命、権利や犯罪について考えます。

＜１０月２２日（土）15：00～16：30＞

第２講：「攻撃から命を守る」

暴力、いじめ、差別はどこで起こるかわかりません。恋愛関係の暴力、子どもやペットへの躾と虐待、暴力的な映像の影響、体罰の基準、いじめの構造、差別と逆差別などを学びます。

＜１０月２９日（土）13：20～14：50＞

第３講：「ミスコミュニケーションから命を守る」

誤解はケンカを生み、ときには裁判沙汰の原因にもなり、医療事故や航空機事故をも引き起こします。絵やジェスチャーで表現する実験をしながら、誤解の心理を理解しましょう。

＜１０月２９日（土）15：00～16：30＞

第４講：「災害から命を守る」

災害に関するクイズに挑戦しながら、避難や救助、噂への対処、メディアや報道のあり方、法令について学びます。災害心理学を知って、自分や誰かの命を救える人になってください。

その他				
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。			
参考文献	授業中に紹介します。			
関連科目	公共、公民（現代社会、倫理、政治・経済）、犯罪心理学、法心理学、認知科学、憲法、民法、刑法、刑事政策			
開講日時	10/22（土）		10/29（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１－５１　明徳館ビル２階）			
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail：kyomu@nau.ac.jp			
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：takizawa@nau.ac.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔30〕高校では学ばないであろう法学の話 (法的思考を特に刑法から学ぶ)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　法律学科 准教授　秋山 栄一　（計1名）
授業概要	中世ヨーロッパにおける三大職業（profession）の一つに法律家が挙げられます。法律家を支える思考とはどういったものでしょうか。その時代から受け継がれ、みなさんの生活にも不可欠な法的思考を刑法的観点から体験します。		
授業方法と留意点	この授業では、難解な法律の専門的知識をというよりは、私たちの日常に存在する事柄を素材にして法学を学びます、自らの日常を振り返りながら気軽に参加してもらえればと思います。高校などの政治・経済とは異なるアプローチで考えます。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１９日（土）13：20～14：50＞

第１講：「私たちの生活と法学」

法学は、広い意味では「この社会を維持し発展させるため」にあるといってよいと思います。みなさんの考えるこの社会は、どうあるべきでしょうか。日常生活の事例を用いて法の役割とその思考を考えていきます。

＜１１月１９日（土）15：00～16：30＞

第２講：「私たちの生活と法的思考」

法的思考というものは、難解な特別なものではなく、私たちの日常生活で是非とも身につけたい思考の一つです。刑法に関わる最近の、またはオーソドックスな事例を通じて、その思考を学びます。

その他	筆記用具、ノートなど	
テキスト	特になし	
参考文献	特になし	
関連科目	政治・経済、現代社会、公民など、また法律学、特に刑法、その他憲法、民法	
開講日時	11/19（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：eiichi-a@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔31〕リアルに描かれた アニメの舞台を巡る観光学	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 准教授　井上 寛　（計1名）
授業概要	海外でも人気の「アニメの舞台を巡る旅」はどうして人気が出たのでしょうか。また、アフターコロナのインバウンド観光に向けて新たな取り組みも始まっています。リアルに描かれたアニメの舞台を巡ってみましょう。		
授業方法と留意点	パワーポイントの映像やガイドブックを見ながら、観光学についてわかりやすく説明します。資料は当日配布します。		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月８日（土）9：30～11：00＞

第１講：**「リアルに描かれたまちがアニメの舞台になった理由」**

アニメの舞台を巡る旅は、海外からの観光客にも人気が高く、インバウンド需要の拡大にも貢献してきました。そもそもリアルなまちがなぜアニメの舞台になり、地域にどのような影響もたらしたのか、考えてみましょう。

＜１０月８日（土）11：10～12：40＞

第２講：**「アニメの舞台になったリアルなまち景観を旅してみよう」**

アニメの舞台になったリアルなまちは最初からアニメの聖地として有名になったのではなく、あとでファンに発見されるケースも多くみられます。アニメの舞台として注目されたまちの景観をアニメに描かれた場面と対比しながら旅してみましょう。

その他		
テキスト	毎時間資料を配布します	
参考文献	授業内で紹介します	
関連科目	地理総合、地理探求　公共(現代社会)、　政治・経済	
開講日時	10/8（土）	
	9：30～11：00	11：10～12：40
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：inoue-h@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔32〕留学のすすめwithコロナ	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 准教授　三浦 薫　（計1名）
授業概要	コロナと共に生きる時代だからこそ、日本を飛び出しましょう。留学は必ずあなたを変えます。そしてそんなあなたは世界を変えます。		
授業方法と留意点	パワーポイントの資料を使いながら、学生と一緒に考えるという形で授業を進めるとともに、実際に留学経験のある大学生から経験談を聞く時間を設ける。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１２日（水）17：30～19：00＞

第１講：「留学の価値について」

コロナ禍にあえて危険を冒して海外にでなくとも、日本に居ながらにして海外のことを知ることは可能です。英語もネットで学ぶことができます。でもこのような世の中だからこそ、留学には価値があることを考えてみましょう。

＜１０月１９日（水）17：30～19：00＞

第２講：「留学への準備」

留学予定の人、あるいは将来留学したいと考えている人、どんな準備をすることで、有意義な留学を実現できるでしょうか。留学経験のある先輩から話を聞いてみましょう。

その他	特にありません	
テキスト	なし	
参考文献	適宜，授業内で紹介します。	
関連科目	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用（※これらの科目を学習していなくても取り組める内容です）	
開講日時	10/12（水）	10/19（水）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：kaoru-m@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔33〕文学でたどる世界遺産の旅Ⅱ （古代エジプトと日本の神話をめぐる旅）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 教授　橋元 志保　（計1名）
授業概要	ご一緒に、美しい世界遺産と文学をめぐる旅に出かけてみませんか。今回は、世界遺産が生まれる契機となったエジプトのアブ・シンベル神殿や、様々な神話がもとになった文化遺産を取りあげてみたいと思います。		
授業方法と留意点	一話完結の授業ですので、前期の「文学でたどる世界遺産の旅」を受講していなくてかまいません。また、パワーポイントを使用して、わかりやすくお話ししますので、歴史や神話等に関する知識がなくても大丈夫です。		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月１５日（土）13：20～14：50＞

第１講：「湖の底に沈む古代エジプトの神殿を救おう！」

ご一緒に古代エジプトの文化をめぐる旅に出ませんか。湖の底に沈むはずであったアブ・シンベル神殿や、王家の谷に眠るツタンカーメン王の秘密など、何千年もの時を超えて残る文化遺産に触れてみましょう。

＜１０月１５日（土）15：00～16：30＞

第２講：「記紀神話の神々と日本の文化をめぐる旅」

エジプトと同様に、古代の日本人たちは自然の中に神の姿を見出し、多神教による神道文化を創り上げて来ました。神代のダークヒーロー、スサノオノミコトの物語を中心に、その文化に触れていきましょう。

その他		
テキスト	資料を配布します。	
参考文献		
関連科目	世界史・日本史・文学国語	
開講日時	10/15（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：shashi@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔34〕秋田とドイツの 「まちづくり」国際比較	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 講師　寺迫 剛　（計1名）
授業概要	外旭川地区開発に向けたイオンとの協定締結など、今まさに岐路に差し掛かっている秋田市の「多核集約型コンパクトシティ」の現状と将来の見通しについて、ドイツの中規模都市ハレ市等と比較しながら考えましょう。		
授業方法と留意点	授業を実施するカレッジプラザのある明徳館ビル（2005年竣工）を含め、2010年代まで中心市街地の再開発に取り組んできた秋田市は、2021年に市政推進の礎となる「第14次秋田市総合計画」、「第7次総合都市計画」、「第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の同年策定と市長選挙を経て、岐路に差し掛かっています。その現場の現状と見通しについて、ドイツのザクセン・アンハルト州ハレ市などとのグローバルな比較の視点も加えつつ、ライブ感のある授業を実施します。		

授　業　計　画

【募集定員人数５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２日（水）17：30～19：00＞

第１講：**「コンパクトシティとしての現状と課題」**

そもそもコンパクトシティ（政策）とは何か？から始め、秋田市の計画や戦略を概観しつつ、その現状について認識しましょう。その際、比較の視点として、ドイツのハレ市についても紹介します。

＜１１月９日（水）17：30～19：00＞

第２講：**「コンパクトシティとしての将来の見通し」**

「多核集約型コンパクトシティ」を標榜する秋田市での「まち・ひと・くらし」の将来像について、ハレ市のSWH（シティワーク・ハレ）やHAVAG（ハレ公共交通公社）等の市政・行政の事例も参考にしつつ、検討しましょう。

その他		
テキスト	レジュメを配布あるいは、Zoom等で各自のデジタルデバイスに共有します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目		
開講日時	11/2（水）	11/9（水）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：terasako@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔35〕国際関係論から見るウクライナ問題 （国際問題を解決するために、 あなたや国際社会にできること）	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 教授　佐藤 克枝　（計1名）
授業概要	いま、世界で起こっていることが、私たちの生活や将来にどのような影響を及ぼすでしょうか。また、私たちは国際問題の解決について何ができるでしょうか。一緒に考えていきましょう。		
授業方法と留意点	プリントを配布して、それに従って授業を進めます。皆さんの意見を聴きながらゼミナール方式で進めますので積極的に参加してください。		

授　業　計　画

【募集定員人数３０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１０日（木）17：30～19：00＞

第１講：「ウクライナ問題を考える」

ウクライナ侵攻に至った歴史や、地理的な背景を一緒に見ていきます。そして、何が問題であるのか、私たちにできることは何かを考えます。

＜１１月１７日（木）17：30～19：00＞

第２講：「国際関係の実際と未来」

国際問題を解決に導くために、いま、あなたは何ができるでしょうか。また、日本やその他の国は何をしていくべきでしょうか。国際関係論の観点から一緒に考えていきます。

その他		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目	政治・経済、公共、地理総合、倫理、国際人道法	
開講日時	11/10（木）	11/17（木）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：sato.katsue@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔36〕アニメーションを通して 英語と文化を学ぶ （アメリカのTVアニメPEANUTSの 英語を聞いて読んでみよう）	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 講師　半田 幸子　（計1名）
授業概要	英語は目的ではなくコミュニケーション手段です。教科書で学ぶ基本文法を用いて、実際の英語に触れてみましょう。PEANUTS作品（1960s-1970s）を通して、英語表現を学ぶとともに、アメリカの歴史や文化も一緒に学びましょう。		
授業方法と留意点	プリント教材を配布の上、作品を鑑賞し、聞き取りや意味内容の確認を行います。ただ和訳するだけでなく、日本語で相応しい表現を一緒に考えましょう。それとともに、アメリカの歴史や文化についても触れたいと思います。		

授　業　計　画

【募集定員人数１２名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１６日（水）17：30～19：00＞

第１講：「″A Charlie Brown Thanksgiving″を通して学ぶ感謝祭」

1973年初放映の作品「チャーリー・ブラウンの感謝祭」を通して、英語のさまざまな日常表現とアメリカの感謝祭の歴史や習慣について学びます。

＜１１月３０日（水）17：30～19：00＞

第２講：「″A Charlie Brown Christmas″を通して学ぶクリスマス」

1965年、PEANUTSシリーズ初放映作品「チャーリー・ブラウンのクリスマス」を通して、英語のさまざまな日常表現とアメリカのクリスマスの習慣、当時のアメリカ社会への作者の問いかけについて学びます。

その他		
テキスト	プリント教材を毎回配布します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目	英語、社会（世界史）	
開講日時	11/16（水）	11/30（水）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：handa@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔37〕明日の私はもっといい （ホスピタリティ＆コミュニケーション）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 教授　千葉 隆一　（計1名）
授業概要	ビジネスシーンとプライベートライフに役立つコミュニケーション力を学び（磨き）ます。自分を知ること（自己理解）で自信を持てるようになります。自分の最大の敵は自分です。大切なのは心の持ち方です。		
授業方法と留意点	理論としての「ホスピタリティ・コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。ゲームやグループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２６日（土）９：40～11：10＞

第１講：「自分を知る（自己理解）」

トランプを使って自己理解（自己分析）を行います。自分自身のパーソナリティーを理解することで自身の行動特性や価値傾向を知ることができます。

＜１１月２６日（土）11：20～12：50＞

第２講：「コミュニケーション技法」

社会人として必要な資質や能力を身に付け、私生活や将来どんな仕事に就いても役に立つコミュニケーション力を学び（磨き）ます。そして、人生をもっと楽しく有意義なものにするための考え方を身に付けられます。

その他		
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配布します。	
参考文献	適時紹介します。	
関連科目		
開講日時	11/26（土）	
	9：40～11：10	11：20～12：50
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：chibaryu@fan.hi-ho.ne.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔38〕超便利、Excelで効率化を極める （～隣の人よりぐっと速くなる～）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 准教授　瀧森 威　（計1名）
授業概要	超便利！なのに9割の人が知らないExcelワザについて、隣にいる人より作業の効率があがるおもしろい使い方について講義します。 簡単な実習をしながら行います。		
授業方法と留意点	実習を交えながら授業を進めますので、パソコンやタブレットをご持参ください。 また、OSは問いませんが、マイクロソフトOffice（Excel）が、使用できる環境であれば、受講可能です。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２６日（土）９：30～11：00＞

第１講：「便利な手法編１」

３D集計、便利な関数、複合グラフ、フラッシュフィル等を使いこなす。

＜１１月２６日（土）11：10～12：40＞

第２講：「便利な手法編２」

単一キー、複数キー、小技、ピボットテーブル、マクロに挑戦で効率化を極める。

その他	パソコンやタブレットをご持参ください。上記の授業方針と留意点をご参照ください。	
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目		
開講日時	11/26（土）	
	9：30～11：00	11：10～12：40
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：takimori@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔39〕プレゼンスライドで差をつける （～PowerPointの効果あるスライド～）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	法学部　国際学科 准教授　瀧森 威　（計1名）
授業概要	プレゼンのための効果的スライド作成について講義を行います。カウントダウンスライドや写真と文字によるアニメーションスライド等を実際に実習をしながら作成します。		
授業方法と留意点	実習を交えながら授業を進めますので、パソコンやタブレットをご持参ください。 また、OSは問いませんが、マイクロソフトOffice（PowerPoint）が、使用できる環境であれば、受講可能です。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１２月３日（土）９：30～11：00＞

第１講：「効果あるスライド編」

もんたメソッド、カウントダウン、写真と文字動画のスライド等の作成

＜１２月３日（土）11：10～12：40＞

第２講：「アニメーション効果」

ビデオと文字動画、グラフアニメーション、PowerPointで作成する動画等の作成

その他	パソコンやタブレットをご持参ください。上記の授業方針と留意点をご参照ください。	
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目		
開講日時	12/3（土）	
	9：30～11：00	11：10～12：40
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：takimori@nau.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔40〕高校生のための看護学入門 （「生きる」を支える人になる）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	看護学部　看護学科 教授　丸井 淑美　（計2名）
授業概要	各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。		
授業方法と留意点	講義はオムニバス形式で下記の担当者が行います。		

授　業　計　画

【募集定員人数５０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２２日（火）17：30～19：00＞

第１講：「教科書にみる世界の性教育」　教授　丸井　淑美

世界の学校ではどんな性教育をしているのでしょうか。世界の 10 代の若者がどのような情報を得て、どのような教育を受けて大人になっていくのか、その実態について紹介します。

＜１１月２９日（火）17：30～19：00＞

第２講：「高校生のための災害看護学『日本赤十字社による災害救護活動』」講師　新沼　剛

東日本大震災を事例に、日本赤十字社の災害救護活動を概観し、災害時における看護師の役割について理解を深めます。

その他		
テキスト	講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。	
参考文献	授業のなかで紹介します。	
関連科目		
開講日時	11/22（火）	11/29（火）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学 電話：018-829-2229（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：niinuma@rcakita.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田公立美術大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔41〕型染でホントの 「マイ・バッグ」を作ろう！ （社会に充満するデザインの有用性、 社会性、意味を探る）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	美術学部　ものづくりデザイン専攻 准教授　森 香織　（計1名）
授業概要	型染の技法でエコ･バッグを作ります。デザインのモチーフは「名前」。自分の名前にちなんだ文様や文字を使って「マイ・バッグ」作りに挑戦します。		
授業方法と留意点			

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月６日（日）９：30～11：00＞

第１講：「デザインを決める」

自分の名前をモチーフにデザインを決めます。

＜１１月６日（日）11：10～12：40＞

第２講：「型下図をつくる」

決定したデザインを元に型染の下図を制作します。

＜１１月６日（日）13：20～14：50＞

第３講：「型紙を彫る」

型下図をつくる型紙に写し、デザインカッターで彫っていきます。

＜１１月６日（日）15：00～16：30＞

第３講：「彩色する」

バッグに型紙を置き、彩色していきます。

その他	【事前学習】自分の名前にどのような由来や意味が込められているか、家族や親戚に取材してみましょう。それをもとにデザイン案を考えてきてください。 持ち物：筆記用具、スケッチブック（エスキース帳）、デザイン資料等			
テキスト				
参考文献				
関連科目				
開講日時	11/6（日）			
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	秋田公立美術大学 染色実習室１			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話：018－888-8105（平日8：30～17：15）　E-mail: kyomu@akibi.ac.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田公立美術大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔42〕ガラスの性質と造形	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	美術学部　ものづくりデザイン専攻 准教授　瀬沼 健太郎　（計1名）
授業概要	東北随一の設備を誇る秋田公立美術大学ガラス工房で、溶けたガラスの性質と造形を学びます。		
授業方法と留意点	工芸は自らの身体の動きと作品の形態が密接に関係しています。ガラスを通して自分の体の動きに注意を向ける体験をメインに素材の特性を学んでいただきます。		

授　業　計　画

【募集定員人数９名】先着順で募集を締め切ります

＜１２月３日（土）13：00～14：30＞

第１講：**「ガラスの性質を知ろう！コップを作ってみよう！」**

ガラスの基本的な性質を学ぶ。習熟者のサポートを受けながらガラスのコップを作ってみる。

＜１２月３日（土）14：40～16：10＞

第２講：**「ガラスでコップを作ってみよう！振り返り」**

習熟者のデモンストレーションを見て、「上手になる」とはどういうことか考察する。
授業を通して感じたことを参加学生同士で発表し共有する。

その他		
テキスト		
参考文献		
関連科目	化学・物理学・体育（身体知）・工芸・デザイン・美術	
開講日時	12/3（土）	
	13：00～14：30	14：40～16：10
会場	秋田公立美術大学 ガラス実習室	
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話：018－888-8105（平日8：30～17：15）　E-mail: kyomu@akibi.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田公立美術大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔43〕あそびのデザイン	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	美術学部 コミュニケーションデザイン専攻 教授　飯倉 宏治　（計1名）
授業概要	さまざまなゲームを実際に体験し、それらをデザインの視点から見直すことにより新たなゲームのデザインについて学ぶ		
授業方法と留意点	授業の最後には、グループディスカッションを通じて新たなゲームを提案する。 参加者には、即興的に構成されたグループの一員として目的を達成するべく主体的な行動が求められる。		

授　業　計　画

【募集定員人数１２名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１２日（土）13：20～14：50＞

第１講：「あそびを知る」

新しい遊びを考えるための基となり得る遊びを体験し、それらデザインの視点からながめてみる。

＜１１月１２日（土）15：00～16：30＞

第２講：「あそびを作る」

第１講で体験した遊びを基に、新しい遊びを考える。授業の後半では、各グループにて考えた遊びについての発表ならびに講評会を行う。

その他	筆記用具	
テキスト		
参考文献	「遊びと人間」ロジェ・カイヨワ（講談社学術文庫）、「新ゲームデザイン」田尻智（エニックス）	
関連科目	数学、美術	
開講日時	11/12（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話：018－888-8105（平日8：30～17：15）　E-mail: kyomu@akibi.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田公立美術大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔44〕地域資源クエスト （地域資源の気持ちになって考えよう）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	美術学部　美術教育センター 准教授　菅原 香織　（計1名）
授業概要	地域資源を生かした景観デザインを考えるワークショップ形式の授業です。秋田駅西口バスターミナルを参考事例としたケーススタディ、「地域資源クエスト」を用いたフィールドワーク、デザインワークを行います。		
授業方法と留意点	フィールドワークとデザインワークはチーム編成をして行います。能動的な態度を心がけてください。活動中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加してください。		

授　業　計　画

【募集定員人数１５名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１２日（土）９：30～11：00＞

第１講：**「地域資源を生かした「地域資源クエスト」とは」（講義）**

地域資源を生かした事例紹介「秋田駅西口バスターミナル」
「地域資源クエスト」の開発経緯と使い方・本日の進め方説明

＜１１月１２日（土）11：10～12：40＞

第２講：**「地域資源フィールドワーク　秋田駅周辺」（現地調査）**

【地域資源のみつめなおし（フィールドワーク）】
【地域資源のまなびなおし（ストーリー）】

＜１１月１２日（土）13：20～14：50＞

第３講：**「フィールドワークのまとめと共有　ディスカッションとワークショップ」（演習）**

【地域資源のおもいおこし（ディスカッション）】
【地域資源のみなおし（ワークショップ）】

＜１１月１２日（土）15：00～16：30＞

第４講：**「地域資源デザインワーク　アイデア展開とふりかえり」（演習）**

【地域資源のつなぎなおし（アイデア）】
【地域資源のふりかえり（リフレクション）】

その他	昼食を持参ください。（昼食時間　12:40～13:20）			
テキスト	地域資源クエスト　https://ru-cas.jp/rediscovery/quest/　※授業の際プリントを配布します			
参考文献	生業景デザイン研究所　https://ru-cas.jp/			
関連科目	地域プロジェクト演習Ａ・Ｂ			
開講日時	11/12（土）			
	９：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	美大サテライトセンター デッサン室			
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話：018－888-8105（平日８：30～17：15）　E-mail: kyomu@akibi.ac.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	聖霊女子短期大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔45〕多様な子どもと共に育つ保育 (遊び体験や事例検討を通して学ぶ保育の原理)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	生活文化科　生活こども専攻 教授　大曽 基宣　（計1名）
授業概要	本授業では、多様な子どもと共に育つ保育の基本となる「子ども理解」や「子どもの育ちを捉える基本的な考え方」について、事例検討や国内外の遊び体験を通して学びます。		
授業方法と留意点	授業中に意見交換をする機会を設けます。他者の意見を肯定的に受け入れ、自身の考えを広げる姿勢で授業に臨んでいただくことを期待しています。		

授　業　計　画

【募集定員人数２０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２６日（水）17：30～19：00＞

第１講：**「多様な子どもと共に育つ保育：事例を通して原理を学ぶ」**

保育における「子ども理解」「子どもの育ちを捉える基本的な考え方」について、事例検討を通して学びます。

＜１０月２７日（木）17：30～19：00＞

第２講：**「多様な子どもと共に育つ保育：遊びを通して共有するもの」**

国内外の様々な遊び体験を通して、多様な子どもが共に育つ保育環境について考えます。

その他	筆記用具を持参する。	
テキスト	なし	
参考文献	なし	
関連科目	保育原理	
開講日時	10/26（水）	10/27（木）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111（平日9：00～17：00）　E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：oso@gml.akita-seirei.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	聖霊女子短期大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔46〕食品と栄養の基礎知識	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	生活文化科　健康栄養専攻 教授　髙山 裕子　（計2名）
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、食品衛生学、応用栄養学といった分野について、基礎的で簡単な演習も取り入れながら解説。栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明。		
授業方法と留意点	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味を持ってもらうことである。資料は講義前にプリントとして配付する。筆記用具を持参してほしい。		

授　業　計　画

【募集定員人数１８名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月８日（土）13：20～14：50＞　教授　熊谷　昌則

第１講：「食品中の健康機能成分について」

食品がもつ、生命活動の維持という栄養学的側面に加えて、生体防御や疾病予防などといったヒトの健康維持に積極的に関わっている機能について分かりやすく講義します。

＜１０月８日（土）15：00～16：30＞　教授　髙山　裕子

第２講：「『献立作成』入門」

栄養士の大事な仕事に「献立作成」があります。食べる人の年代や生活に合った栄養のとり方、食品選び、外観などもを考えた献立を作成してみましょう。

その他		
テキスト	配付資料	
参考文献	定めない	
関連科目	生物　化学　家庭科　保健体育	
開講日時	10/8（土）	
	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111（平日9：00～17：00）　E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：takayama@akita-seirei.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔47〕高校生のための介護福祉入門 (介護におけるコミュニケーションと介護レクリエーション)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 講師　及川 真一　（計2名）
授業概要	介護や高齢者に対する基礎知識を学び、コミュニケーションとレクリエーションの意義と役割について解説していきます。		
授業方法と留意点	講義と演習を組み合わせながら授業を進めていきます。		

授　業　計　画

【募集定員人数１８名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月２２日（土）13：00～14：30＞　講師　及川　真一

第１講：「動機付け、意思決定をするためのコミュニケーション」

介護のコミュニケーション基本技術（受容、共感、傾聴、距離感）について学びます。

＜１０月２２日（土）14：45～16：15＞　講師　佐藤　沙織

第２講：「生活の中の喜びや楽しみを見いだすためのレクリエーション」

生活を楽しく豊かにするという視点から、レクリエーション素材・プログラムについて体験を通して学びます。

その他		
テキスト	講義の内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。	
参考文献	授業の中で紹介します。	
関連科目		
開講日時	10/22（土）	
	13：00～14：30	14：45～16：15
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 電話：018-829-3000（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔48〕精密測定入門	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	生産技術科 講師　菖蒲　大樹　（計1名）
授業概要	日常生活で何気なく、使用している様々な機械部品は0.01～0.001㎜単位の長さを求めて、製作されています。そういった、細かい長さを測定するために使用する様々な機器の使用方法を学びます。		
授業方法と留意点	従来から使用されている基礎的な測定器や画像処理から長さを測る機器などをできる限り、実習を交えながら授業を進めていきます。ケガなどの危険が伴うような作業はありません。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２６日（土）９：30～11：00＞

第１講：「精密測定の基礎」

精密に測定するために必要な基礎的な知識を解説し、ノギスやマイクロメータなどのよく使用される機器を使用しながら測定について学びます。

＜１１月２６日（土）11：10～12：40＞

第２講：「近年の精密測定」

近年、複雑な形状の寸法測定が必要になっています。そのような測定に使用されている画像寸法測定器や３次元測定器などの比較的歴史の浅い測定機器について学びます。

その他		
テキスト	自作テキスト	
参考文献		
関連科目		
開講日時	11/26（土）	
	9：30～11：00	11：10～12：40
会場	秋田職業能力開発短期大学校 202室	
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5600（平日9：00～17：00）　E-mail: Akita-college03@jeed.or.jp	

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔49〕人工知能を利用したゲーム制作	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 講師　中村 俊也　（計1名）
授業概要	私たちの生活の中に人工知能の技術が当然のように利用されるようになってきました。本講義では、人工知能の技術をビジュアルプログラミング言語ｓｃｒａｔｃｈを利用したゲーム制作実習を通して体験します。		
授業方法と留意点	プログラミングは、マウスの操作で簡単に行えます。基礎的な知識は必要ありません。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２６日（土）10：30～12：00＞

第１講：「人工知能入門」

人工知能とはどのような技術で何が実現できるのかを説明します。

＜１１月２６日（土）13：00～14：30＞

第２講：「ｓｃｒａｔｃｈによる人工知能プログラミング」

ｓｃｒａｔｃｈによるプログラミング実習を通して人工知能の技術を体験します

＜１１月２６日（土）14：40～16：10＞

第３講：「人工知能を利用したゲーム制作実習」

ｓｃｒａｔｃｈによる人工知能プログラミングを利用してじゃんけんゲームなどの制作を行います。

その他	11/26（土）は昼食を持参ください。（昼食時間 12：00～13：00）		
テキスト	自作テキスト		
参考文献			
関連科目			
開講日時	11/26（土）		
	10：30～12：00	13：00～14：30	14：40～16：10
会場	秋田職業能力開発短期大学校 408室		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5600（平日9：00～17：00）　E-mail: akita-college03@jeed.or.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔50〕建築CGパース作成技術 (建築３次元CADの活用、透視図の作成方法)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 講師　平 和基　（計1名）
授業概要	３次元CADの活用により、２次元ではイメージしにくい空間を簡単に伝えることができます。前期は手書きによる立体表現手法について取り上げました。今回はCGによる立体表現を通し、手描きとは違った伝え方を行います。		
授業方法と留意点	３次元CADを活用することで、建物の外観やインテリア（内装）のイメージをCGモデルで作成します。さらに作成したCGモデルの活用方法について知ることで、建設業界に携わるすべての職種の人たちとの情報共有ツールとして活用ついて学びます。		

授　業　計　画

【募集定員人数１０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月２６日（土）９：30～11：00＞

第１講：「透視図とは何か」

透視図で描かれた絵画を例に透視図の種類や用語について解説します。

＜１１月２６日（土）11：10～12：40＞

第２講：「建築３次元CADの使用方法」

配置図、各階平面図等の作成方法について指導します。その後、３次元モデリングの作成方法について指導し、基本的な３次元CADの使用方法について学んでもらいます。

＜１１月２６日（土）13：20～14：50＞

第３講：「建築３次元CADの使用方法に係る演習」

第２講の内容について、演習を行います。

＜１１月２６日（土）15：00～16：30＞

第４講：「３次元モデルの活用、透視図の作成」

３次元モデルの活用方法について指導します。その後、透視図の作成方法について指導します。

その他	11/26（土）は昼食を持参ください。（昼食時間 12：40～13：20）			
テキスト	自作テキスト			
参考文献				
関連科目				
開講日時	11/26（土）			
	9：30～11：00	11：10～12：40	13：20～14：50	15：00～16：30
会場	秋田職業能力開発短期大学校 221室			
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5600（平日9：00～17：00）　E-mail: Akita-college03@jeed.or.jp			

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔51〕教職の世界＜県北会場＞ (教職への展望を拓く)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	客員教授　伊藤 成年
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案　(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方法と留意点	授業は講義と演習を組み合わせて行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		

授　業　計　画

【募集定員人数４０名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月８日（土）10：00～11：30＞

第１講：**「教職の世界とその魅力」**

自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。（公立小学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１０月８日（土）12：30～14：00＞

第２講：**「授業における教師の『表現力』や『課題設定力』等に関する学び」及び「学習指導案の読み取りと略案の作成」**

学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオを視聴し、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。また、学習指導案の見方、略案の作成等についても学びます。さらに、ビデオ視聴やサンプルの学習指導案を基に、授業の導入部分の演じ方について協議し練り上げグループ発表します(グループ協議・演習)。（公立中学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１０月８日（土）14：15～15：45＞

第３講：**「秋田県教育の特色(全国学力･学習状況調査結果等の分析から）及び教師に必要とされる資質・能力について」**

全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活や家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。

その他	昼食を持参ください。（昼食時間　11:30～12:30）		
テキスト	なし（講義資料を配布する）。		
参考文献	なし。		
関連科目			
開講日時	10/8（土）		
	10：00～11：30	12：30～14：00	14：15～15：45
会場	秋田県立大館国際情報学院高等学校		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	秋田大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔52〕教職の世界＜県南会場＞ (教職への展望を拓く)	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	客員教授　伊藤 成年
授業概要	教職を目指す高校生のための講座です。教師という職業の概要について学ぶとともに、学習指導案の読み取りや学習指導案　(略案)の作成、教育専門監の授業(ビデオ)を教材に授業づくりの要点等についても具体的に学びます。また、秋田県教育の特色や教師に必要とされる資質・能力について講義やグループ協議を通して学び、教職を志す高校生のキャリア発達を促します。		
授業方法と留意点	授業は講義と演習を組み合わせて行います。内容によっては、グループワークや全体での協議・発表が中心となりますので主体的な参加が期待されます。受講者の事前準備は必要ありません。		

授　業　計　画

【募集定員人数４０名】先着順で募集を締め切ります

＜１１月１２日（土）10：00～11：30＞

第１講：**「教職の世界とその魅力」**

自らの教職体験をもとに、児童生徒と教師との関わりによって紡ぎ出される教職の真の魅力について伝えるとともに、教職の世界について正しい理解が図られるようにします。また、受講者が、それぞれどのような教師像を抱いているのかについてグループで語り合い、互いに教職を目指す心を見つめ直し、考えを深めることができるようにします。（公立小学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１１月１２日（土）12：30～14：00＞

第２講：**「授業における教師の『表現力』や『課題設定力』等に関する学び」及び「学習指導案の読み取りと略案の作成」**

学校の日課はほぼ授業で占められています。授業は、児童生徒にどのような力を身に付けさせるのか、ねらいや手立て評価等の考え方が事前にしっかりと設計されている必要があります。教職への入門として、授業力に秀でた教育専門監の授業場面のビデオを視聴し、児童生徒を引きつける教師の態度・振る舞い等の表現力や「学習課題」を設定するまでの学習意欲の引き出し方等について学びます。また、学習指導案の見方、略案の作成等についても学びます。さらに、ビデオ視聴やサンプルの学習指導案を基に、授業の導入部分の演じ方について協議し練り上げグループ発表します(グループ協議・演習)。（公立中学校採用の若い教員による講話４０分程度を含む）

＜１１月１２日（土）14：15～15：45＞

第３講：**「秋田県教育の特色(全国学力･学習状況調査結果等の分析から）及び教師に必要とされる資質・能力について」**

全国学力・学習状況調査において、毎回全国トップレベルの秋田県児童生徒の学力や質問紙にみる生活や家庭学習等の実態を把握し、その成果や課題等について考えます。また、このような結果が、教員の熱心な研修姿勢や地域社会の協力、県・市町村教育委員会の特色ある教育行政施策によってもたらされていることについて学びます。すぐれた秋田県教育の実状について幅広い知見を得ることができます。さらに、教師に必要とされる資質・能力とは何かについて考えます。

その他	昼食を持参ください。（昼食時間　11:30～12:30）		
テキスト	なし（講義資料を配布する）。		
参考文献	なし。		
関連科目			
開講日時	11/12（土）		
	10：00～11：30	12：30～14：00	14：15～15：45
会場	秋田県立横手高等学校 定時制課程 青雲館		
欠席連絡先	秋田大学　手形キャンパス 電話：018-889-2843（平日9：00～17：00）　E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		